

2026年度 春の新生相談会 活動報告

- 理工学系ピアサポーター対応分

1. 概要

日時 2025年3月27日 - 4月16日(計12日開催)

※3月27日～31日: 新生健康診断日、4月5日・6日: 新生ガイダンス日

場所 Taki Plaza 地下1階

2. 相談数

相談件数 215件

相談者数 248人

相談者数の学年の内訳は以下の表1の通りである。B1の相談者がメインであったが、修士課程の学生からの相談も比較的多く見受けられた。

表 1: 相談者数の学年内訳

学年	人数(人)
B1	195
B2	3
B3	3
B4	2
修士	18
博士	1
不明	16
その他	9
合計	248

また、新生ガイダンス日である、4月5日(43件)と6日(53件)の相談件数は、他の日程と比較して最多の水準であった。(図1)

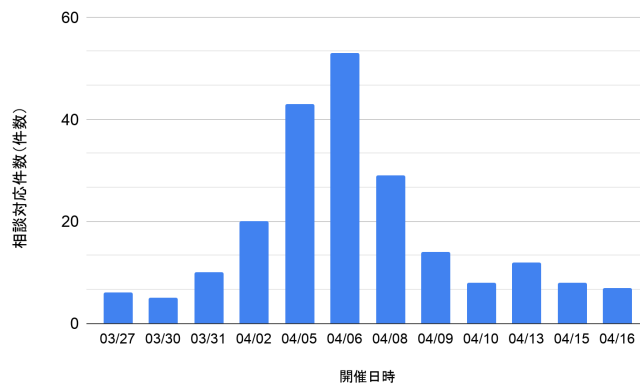


図1 日別相談対応件数

3. 相談内容

3.1. 概要

履修単位数の目安や時間割の組み方、TokyoTech Portal(理工学系ポータル)またはScience Tokyo Portalといった学内のポータルに関する質問が多く見られた。

また、今年度の特徴として、新生自身が事前に調べたうえで、その内容が正しいかどうかと一緒に確認してほしいという相談が多く挙げられる。

3.2. 相談詳細

図2は相談内容内訳である。履修に関する相談が最も多く、次いでITに関する相談が多かった。

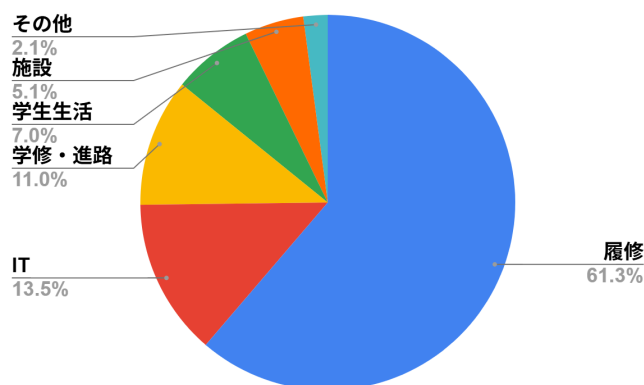


図2 相談内容内訳

(1) 履修関連 467件

- a. 授業の組み方・時間割・シラバスの見方 94件
- b. 単位数・キヤップ制・成績 76件
- c. 各科目関係 263件
 - ・理工系教養科目 43件
 - ・ウェルネス科目 49件
 - ・文系教養科目 44件
 - ・実験科目 32件
 - ・英語科目 30件
 - ・専門科目 27件
 - ・教職科目 7件
 - ・集中講義 7件
 - ・大学院アントレ科目 7件
 - ・その他科目 17件
- d. 勉強方法 15件
- e. 教科書 9件
- f. その他 10件

(2) IT関連 103件

- a. 学内システム 38件
- b. 学内Wi-Fi 27件
- c. ソフトウェア 13件
- d. PC 13件
- e. Slack・Box 3件
- f. その他 9件

(3) 学生生活 53件

- a. サークル 38件
- b. アルバイト 7件
- c. 友人関係 1件
- d. 一人暮らし 1件
- e. その他 6件

- (4) 学修・進路 88件
 - a. 系所属・転院 32件
 - b. 留学 8件
 - c. 研究室 8件
 - d. 修士・博士課程進学 4件
 - e. 就職 5件
 - f. ユニット 4件
 - g. アントレプレナーシップ 5件
 - h. 教職課程 4件
 - i. B2D 4件
 - j. 早期卒業 4件
 - k. 四大学未来共創連合コース 1件
 - l. 単位数・キャップ制・成績 1件
 - m. 医歯学系との相互履修科目 1件
 - n. その他 7件

- (5) 施設 39件
 - a. Taki Plaza 9件
 - b. 講義室 3件
 - c. 学生支援課・教務課窓口 5件
 - d. 食堂・大岡山の食事場所 2件
 - e. 生協 3件
 - f. 体育施設 3件
 - g. 証明書発行 2件
 - h. その他 12件

- (6) その他 16件
 - a. クレジットカード・定期券 1件
 - b. 運転免許 1件
 - c. その他 14件

4. まとめ

昨年度は相談件数が242件、相談者数が305人であったのに対し、今年度は相談件数215件、相談者数248人といずれも減少した。この要因としては2点考えられる。まず、本相談会よりも前の3月8日に彩燕祭で新入生向けの相談会を実施した。彩燕祭で受けた質問は主に学生生活に関するものであり、サークルの選び方やアルバイトを始める時期などの質問が多数寄せられた。次に、昨年度までは入学式で配布されていた学修案内等の資料が、今年度から健康診断後の配布へと変更された。これにより、新入生は履修科目や系所属などの履修に関する情報を早い段階で入手でき、十分に情報収集したうえで相談会に参加できたと考えられる。以上のことから、学生生活に関する相談の一部が彩燕祭で解消されたことに加え、履修に関する情報を事前に得られるようになったことが、本相談会における相談件数および相談者数の減少につながったと考えられる。